

needs 保守点検業務の技術を若手に継承したい

## ■スマートグラスを活用した遠隔保守点検の実現

企業名	： フジテック株式会社
事業内容	： エレベータ、エスカレータ、動く歩道の研究開発・製造・販売・据付・保守
従業員数	： 単独 3,135 名、連結 10,683 名 (2022 年 3 月 31 日現在)
所在地	： 滋賀県彦根市宮田町 591-1 (本社)

背景 ・ 当社ではエレベータ、エスカレータの保守点検を行っているが、機能多様化に伴い、保守点検に係る知識・技能も高化していた。  
また、若手への技術伝承が建築業界全体としての大きなテーマとなっていた。

### IoT を活用した課題解決の内容

・点検現場の安全パトロールで、若手技術者が担当するケースでスマートグラスを導入、若手技術者の目線を熟練技術者が遠隔で確認できるようにして、指導効率を向上させた。

検討・開発期間	： 7年
開発者	： デジタルイノベーション本部
開発コスト	： 約20万円

#### 課題

・エレベータの機能の多様化、高度化に伴い、求められる技術・技能が高まっていること。  
⇒若手技術者への点検技術の伝承。



#### 解決方法

IT を活用した若手技術者への教育。  
⇒若手への安全パトロール業務の指導にスマートグラスを導入  
WEB 会議システムと併用することで、遠隔での指導を実施。

#### 特徴

##### (1) 7年越しの本格導入

スマートグラスの有効性には早くから着目し、2015年から調査・検証 (PoC) を進めてきたが、近年のハード面の高機能化によって、現場で有効活用できると判断し、2022年5月より本格的に導入を開始。

##### (2) 保守現場の監査「安全パトロール」をリモート化

保守現場の監査を行う「安全パトロール」を一部リモート化。現場で作業する技術者がスマートグラスを装着し、熟練技術者はビデオ通話を介してオフィスからリアルタイムに指導。



##### (3) 情報システム部門が現場密着で導入支援

情報システム部門が現場に出向き部門を超えて密に連携して導入を進めた。

## 導入成果

・熟練技術者の指導作業の効率向上 (移動時間を中心に「安全パトロール」に要する時間を 1 回あたり 70% 削減)。

## 成功したポイント

- ・情報システム部門が、部署を超えて連携し、課題解決に向けた提案活動と、導入トレーニングを行ったこと。
- ・装着の容易性、操作性、耐久性に優れたスマートグラスを選定したこと。
- ・数多くのデバイスを根気強く、諦めずに検証を続けたことにより、保守現場で使える機種を選定できたこと。

## 今後の展開予定

- ・エレベータ工事の現場調査の分野での活用。
- ・点検業務以外においても、モバイルツールやクラウドサービスを活用した業務支援を実施し、働く場所や時間にとられないワークスタイルの実現を目指す。